

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2427 号

Psychological transition characteristics of patients diagnosed with asbestos-related mesothelioma

(アスベスト・中皮腫と診断された患者の精神的移行の特性)

葛西 好美 (かさい よしみ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、胸膜中皮腫患者の精神的移行の経験を患者自身の語りから解釈学的現象学的方法を用いて明らかにしたものである。その結果、中皮腫患者の精神的移行の態度は“自立した生活を続けて症状を管理する”“心が揺れながらも不治の病であることを受けとめる”“不確かさの中においても治療と人生を決定する”“家族とポジティブな関係を続ける”の4側面であった。また、精神的移行の態度に関連する行為は“セルフケアの方法を創造する”“アスベスト曝露や中皮腫の情報を収集する”“自己の経験や他患者の経験を通して死を受け入れる”“家族、同僚、ケア提供者から情緒的支援を受ける”“効果的な治療を受けるために病院医療者とのラポートを積極的に作る”“救済・補償を受ける”であった。本論文により中皮腫患者の経験をもとにしたケアの視点や、患者の精神的移行に関する一般化を目指し統計的検証を行うための枠組みが示された。

中皮腫患者の精神的移行が、患者の苦痛症状の管理、中皮腫であることや死への受けとめ、治療や人生の意思決定、家族関係の側面における混乱や再構築の変化の過程であることを初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。